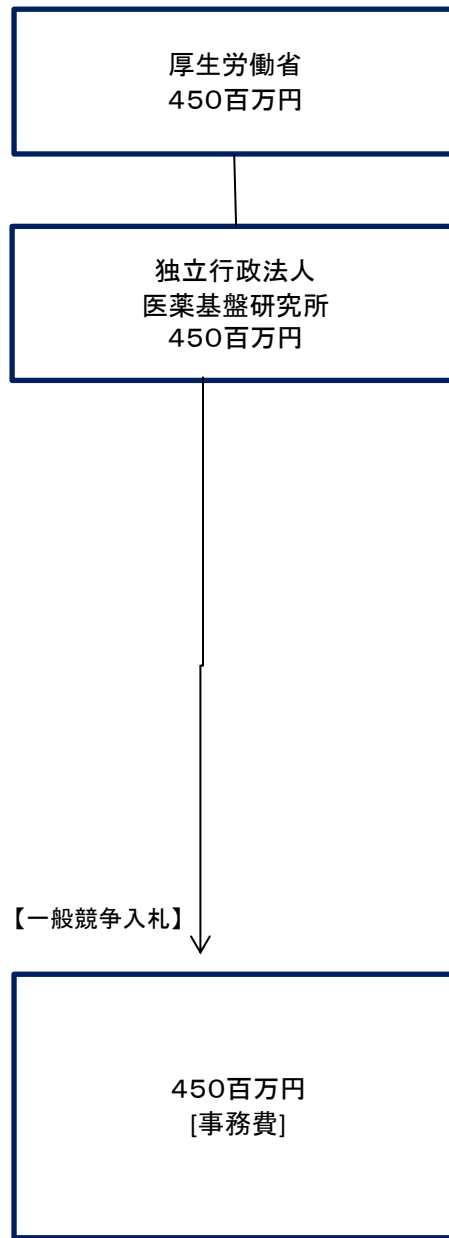


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	独立行政法人医薬基盤研究所設備整備費補助金			担当部局	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	総務部	岡村 真一		
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-2-1 厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施を確保すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法 (平成11年法律第103号) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所法(平成16年法律第135号)			関係する計画、通知等	「新成長戦略」、「第3期科学技術基本計画」、「革新的医薬品医療機器創設のための5カ年戦略」			
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	創薬支援ネットワークによる抗体・核酸医薬等の開発支援機能を担う創薬支援スクリーニングセンターの機能強化を図ることにより、革新的な抗体・核酸医薬等の創出の成功確率の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	抗体・核酸医薬等になりうる化合物の有効性や安全性を検証するための行程である最適化を実施するために必要な設備を整備し、創薬スクリーニングセンターの機能を強化する。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-		
		補正予算	-	-	450	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	450		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲450	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	0	450	0		
	執行額	-	-	0				
執行率 (%)	-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	平成27年度に国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が実施する創薬支援スクリーニングセンターの機能強化のための体制整備として、28以上の機器を整備	体制整備のために必要な設備・機器の整備数	成果実績	件	-	-	0	
			目標値	件	-	-	-	28
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	平成27年度に国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が実施する創薬支援スクリーニングセンターの機能強化のための体制整備として、28以上の機器を整備	活動実績	件	-	-	0		
		当初見込み	件	-	-	28	28	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X/Y X:「当該年度執行額」 Y:「当該施設数」	単位当たりコスト	百万円	-	-	0	450	
		計算式	/	-	-	0/1	450/1	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の政策課題の解決に向けて実施している事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、優先度の高い事業ある。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は設備整備のための経費であり、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金とは、事業目的が異なるため、適切な役割分担が行っている。		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	厚生科学課	917	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金			
点検・改善結果	点検結果					
	改善の方向性					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度		平成23年度		平成24年度		
平成25年度		平成26年度				

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					